

公開実用 昭和61-4578

2

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-4578

⑬ Int. Cl.

A 01 K 91/04
97/02

識別記号

庁内整理番号
D-7416-2B
7416-2B

⑭ 公開 昭和61年(1986)1月11日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 投げ釣用かご付き天秤

⑯ 実 願 昭59-90068

⑰ 出 願 昭59(1984)6月16日

⑱ 考 案 者 山 根 祥 克 広島市西区高須2丁目9番23号

⑲ 出 願 人 山 根 祥 克 広島市西区高須2丁目9番23号

明 細 書

1. 考案の名称

投げ釣用かご付き天秤

2. 実用新案登録請求の範囲

かご付きおもりに通し孔を設け、パイプを貫通させたことを特徴とする投げ釣用天秤。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、投げ釣用天秤の改良に、関するものである。従来投げ釣用天秤は、鋼鉄線に重りをつけて使用している。広い海で魚を釣るという事は、なかなか思うように釣れない。

魚がいる場所や、釣れるポイントをさがし当てるとしても、なかなかよいポイントが解らない事が多い。

よく釣れる場所はないかと、種々とポイントをさがし回り、危険をおかしてまで、よい場所に行く人も多い。

やたら餌を付けて投げ込めば、魚が食い付くというものでもない。

たとえ釣れたとしても、単発である事が多い。

又、深い所や遠方に投入した場合、竿をあげて見たら食い付いていたという事があり、魚のあたりを見のがす事がある。

他の釣り方に比べて、釣りの醍醐味が小さいことが多いし、興味も薄れやすい。

この考案は、次の方法によって、上記の欠点を解決出来る投げ釣用天秤である。

この考案を図面にもとづいて説明すると、従来の天秤第3図は、鋼鉄線におもりを貫通させたり、又、おもりを付けたりしてある。

この考案の天秤は、適当な細いパイプ1に、よせ餌かごとおもりを一体にしたもので、当かご付きおもりの中心に、パイプの直経よりも少し大きめの通し孔5をあけ、その中にパイプ1を通し、パイプ1に沿ってかご付おもりが、スライドして動くようにした天秤である。

パイプ1は適当な弾力を備えた材質のパイプがよく、根掛かり等でも、折れにくく、引き寄せやすい。

当かご付おもりは、上部が蓋2で、かご3にま

き餌を入れる。おもり4は、かごに一体として付けたものである。

よせ餌かごには、エサが適当に出る穴6をあけてあり、又、蓋2でエサの出具合を調整出来るようにしたものである。

本天秤のかご付おもりは水庄やおもりの重さで自在にパイプに沿ってスライドして、動くようにしたものである。

このかご付おもりにまき餌を入れ、竿で投げた時、当かご付おもりは、突起部分7で止まり、海中に投入される。突起部分8は、かご付おもりがパイプ1より飛び出ないようにした突起部分である。

魚は餌の臭いによって、集まる習性がある。

まき餌は、水流によって少しずつかごより出て水中で漂い、まき餌の臭いと餌につられて、このかご付おもりの附近に魚が集り、針のついた釣餌に、おのずと食いつく仕掛けである。

従来の天秤での投げ釣では、広い海の中で釣針だけの小さな餌を頼りに、魚を釣るよりもおの

ずと効果大きい。

釣針 13 に食い付いた魚は、逃げようとする瞬間、ハリス 10 は引っ張られパイプ 1 の中を貫通した道糸 9 が、直接引っ張られる。

従来の天秤のように、おもりの荷重もなく、一寸の魚のあたりでも、竿先に直接解りやすい。小さな引き込みでも、竿先が大きく曲りあたりがよく解る。

竿を持ち上げると同時に、リールを巻くと、サルカン 11 が、パイプ端部 12 で止まり、手元まで引き寄せることが出来る天秤である。

又、まき餌が無い時は、そのままでも投げおもりとして使用出来る。

他には舟釣等にも利用できる。

従来の天秤での投げ釣では、魚を集めて釣るという事は難しかったが、このかご付おもりの天秤を使用すると、遠方でも深い所でも、思い思いの場所に魚を集めて、釣ることが出来る特徴を持った投げ釣用天秤である。

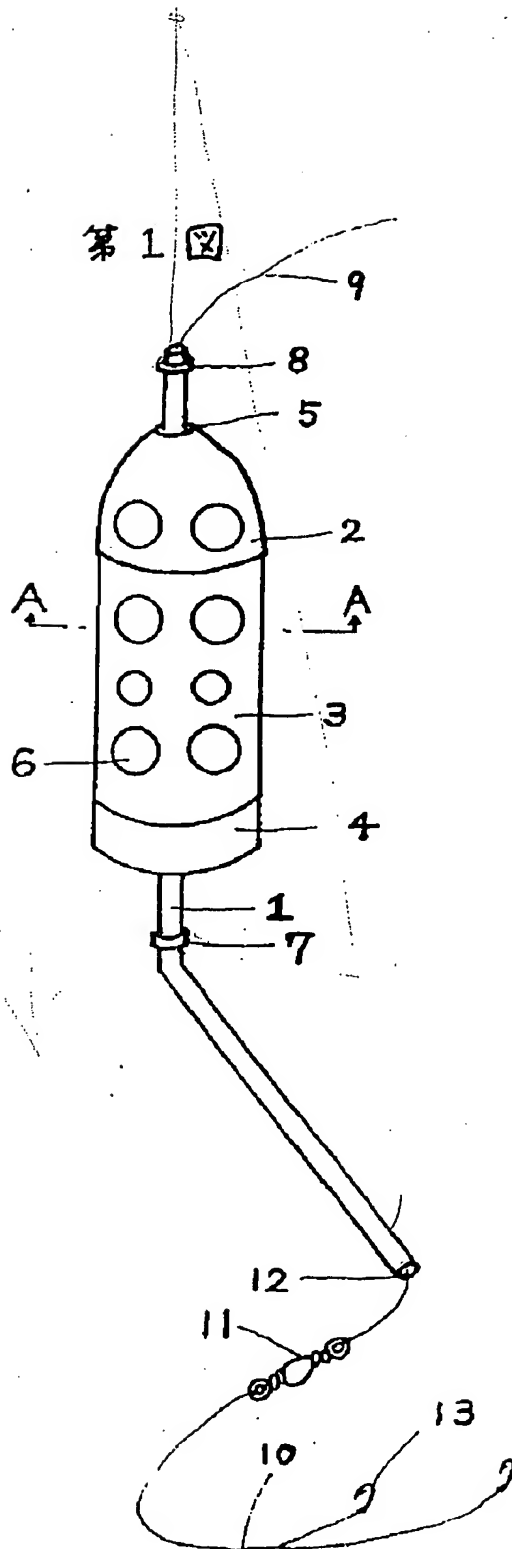
4 図面の簡単な説明

第1図は本考案の正面図、第2図はA-A断面図、第3図は従来の投げ釣用天秤の斜視図である。

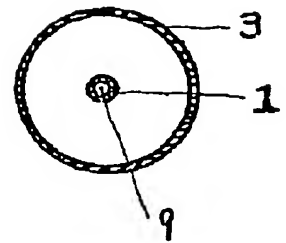
1 …… パイプ、2 …… 蓋、3 …… かご、4 …… おもり、5 …… 通し孔、6 …… 餌の出る穴、7 …… 突起部分、8 …… 突起部分、9 …… 道糸、10 …… ハリス、11 …… サルカン、12 …… パイプ端部、13 …… 釣針。

実用新案登録出願人 山 根 祥 克

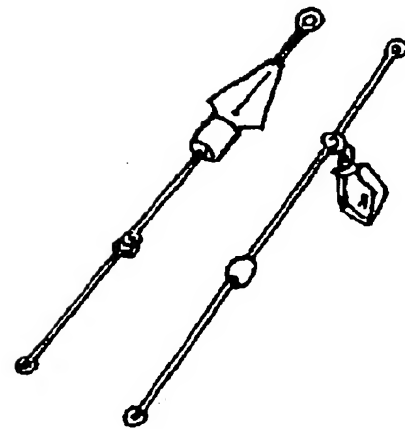
第 1 圖



第 2 圖



第 3 圖



11.3.4

4578

實用新案登錄出願人 山 根 祥 克